

<事業名> 豊岡のまちなみ散歩

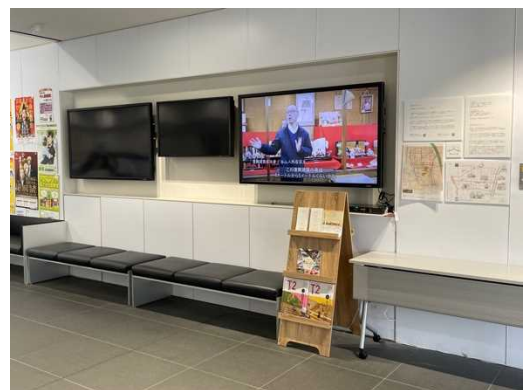
団体名	豊岡まち塾
所在地	豊岡市
代表者名	塾長 朝日健司

事業内容	<p>3月5日（土）午後1時から豊岡稽古堂3階で、ドキュメント映像の映写会を開催した。参加者は28名。新型コロナウイルスによる蔓延防止等充填措置期間が延長されたため、まち塾会員と地域おこし協力隊隊員、あるいは知人などに周知して実施した。映像の内容は、豊岡まち塾の取り組みを紹介するとともに、私たちが集めた明治、大正、昭和の古写真を、北但大震災（北但馬地震）からの復興で建てられた建築群にお住まいの住人や日本最古級の公設市場で商売をしている方々のお話を織り交ぜて制作してもらったものである。映写後に参加者の意見を聞く時間を設けたが、たくさんの意見や感想がいただけて内容も好評であった。</p> <p>その後、参加者のうち18名が2班に分かれてまち歩きを実施した。コースは映像に映し出された場所を中心に回るようにし、ガイドは、まち塾会員が行った。</p>	
地域		
事業の効果	<p><b>①団体（組織）内の効果</b>          新型コロナウイルス禍での準備や事業実施となったため、打ち合わせはできるだけ少人数で、企画会議も回数を減らして実施せざるを得なかった。映像は、豊岡演劇祭のために移住して来られた映像作家・監督に制作してもらった。企画を立ち上げる段階から何度も打ち合わせしながら、こちらの思いを伝え、よく汲み取って制作してもらえたと思う。          なお、上映後、わたしたちの団体に加入したいという嬉しい申し出もあった。</p> <p><b>②地域への効果</b>          映像は、3月1日から豊岡市役所1階の受付ホールで流してもらうことにした。また、このイベントの後、豊岡駅前の大型複合商業施設アイティのホールなどで映像を流したり、震災復興建築をリノベーションされて人が集う場所になっている豊岡劇場やとゞ兵では放映会を開催してほしいとの要望があったりと、わたしたちの活動を少しでも理解してもらえる契機となるのではないかと望んでいる。</p>	
事業経過	<p>3年7月23日 9月29日 10月12日 12月2日 4年1月7日 1月18日 2月8日 2月16日 2月25日 2月28日 3月1日～11日 3月5日 3月9日</p>	<p>企画会議（豊岡稽古堂） 映像作家との打ち合わせ（コトブキ荘） 企画会議（きんさるde） 企画会議（豊岡市役所会議室） 映像作家とオンラインによる打ち合わせ インタビュー撮影（オーベルジュ豊岡1925） インタビュー撮影（谷山人形店・もりめ食堂・豊岡稽古堂） 映像作家とオンラインによる打ち合わせ 開催準備の打ち合わせ 映像放映準備（豊岡市役所） 映像放映（豊岡市役所1階ホール） イベント当日（豊岡稽古堂3階） 反省会</p>

協働の相手方	豊岡まちなみ連盟 兵庫ヘリテージ機構 H20 但馬 豊岡商工会議所 豊岡市役所・豊岡市地域おこし協力隊 豊岡映画センター 芸術文化観光専門職大学
今後の課題等	<p>〈事業を実施する上での課題〉</p> <p>①団体（組織）の課題</p> <p>新型コロナウイルス終息の見通しがたたないままの一年となったため、会員全員が集まる機会が全く作れなかった。今後も同様の状況が続く可能性があるため、オンライン会議との併用や、短時間での面談などを取り合わせて、事業計画や打ち合わせを重ねていくようにしたい。</p> <p>放映会での意見にもあったが、わたしたちの取り組み自体は高評価をもらえたが、もっと団体を知ってもらうことが必要だと痛感した。</p> <p>②地域の課題</p> <p>豊岡まち塾に配属された地域おこし協力隊の隊員が積極的に活動してくれているので、彼を通じて情報を集めたり、地域とのより良い関係をさらに進めたいと思う。昨年度開校した芸術文化観光専門職大学の教職員や学生なども連携し、地域との交流をさらに深めていきたい。また、豊岡演劇祭に関わる人たちとも一緒になって、地域連携を図っていきたい。</p> <p>〈令和4年度以降の事業計画〉</p> <p>ドキュメント映像は、わたしたちの活動を知ってもらうとても良い手段だと感じた。豊岡中心市街地で情報発信をしている豊劇やとゞ兵などを取り上げた映像も制作したいと考えている。今年度の豊岡演劇祭での撮影や、豊岡演劇祭の参加者へのツーリズムなども併せて実施したい。</p>



R4年3月5日 放映会



R4年3月1日 市役所1階ロビー放映



R4年3月5日 まち歩き



R4年3月5日 まち歩き